



## 2020年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2020年5月13日

上場会社名 田中商事株式会社  
 コード番号 7619 URL <http://www.tanakashoji.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鳥谷部 毅  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 春日 国敏  
 定時株主総会開催予定日 2020年6月26日 配当支払開始予定日 2020年6月29日  
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月26日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-3765-5211

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	32,430	7.9	1,225	6.9	1,236	8.0	861	12.8
2019年3月期	30,043	7.8	1,146	28.7	1,145	27.3	763	33.4

(注) 包括利益 2020年3月期 753百万円 (1.8%) 2019年3月期 767百万円 (26.7%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	97.82		7.4	5.0	3.8
2019年3月期	86.69		6.9	4.7	3.8

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 百万円 2019年3月期 百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	24,397	11,965	49.0	1,358.52
2019年3月期	24,647	11,414	46.3	1,295.94

(参考) 自己資本 2020年3月期 11,965百万円 2019年3月期 11,414百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	381	217	734	2,114
2019年3月期	1,139	376	633	2,249

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期		10.00		13.00	23.00	202	26.5	1.8
2020年3月期		10.00		18.00	28.00	246	28.6	2.1
2021年3月期(予想)								

(注) 配当予想につきましては、未定とさせていただきます。

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期									

(注) 2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスによる影響を現段階において合理的に算定することが困難なため未定とし、記載しておりません。業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

## 注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期	8,832,000 株	2019年3月期	8,832,000 株
期末自己株式数	2020年3月期	24,143 株	2019年3月期	24,143 株
期中平均株式数	2020年3月期	8,807,857 株	2019年3月期	8,807,877 株

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
連結損益計算書 .....	6
連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(セグメント情報等) .....	11
(1株当たり情報) .....	12
(重要な後発事象) .....	12

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益の改善が続き、内需に牽引される形で、緩やかな回復基調で推移していましたが、米中貿易摩擦による海外経済の不確実性や、年度終盤には新型コロナウイルス感染症拡大の影響により景況感が急速に悪化いたしました。

当社グループの属する建設関連業界におきましては、公共投資の底堅い動きが見えた半面、民間設備投資では低調な動きが見られるとともに、建設現場における慢性的な人手不足や労務費、資材費の高止まりにより、経営環境に厳しさが残りました。

このような状況の中で、当社グループにおきましては、期首より機動性・実効性の高い組織体制とするために組織体制の見直しを行い、業務効率の向上、継続して取り組んでいる物件受注や得意先ベースの更なる強化を図ってまいりました。

この結果、当連結会計年度の連結売上高は32,430,227千円(前期比107.9%)となり、利益面におきましては営業利益1,225,790千円(前期比106.9%)、経常利益1,236,732千円(前期比108.0%)、親会社株主に帰属する当期純利益861,581千円(前期比112.8%)となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末に比べ249,985千円減少し、24,397,845千円となりました。

流動資産は、現金及び預金の減少、受取手形及び売掛金の減少等があったものの、電子記録債権の増加、商品及び製品の増加等により、前連結会計年度末に比べ96,603千円増加し、13,270,863千円となりました。

固定資産は、土地、建物及び構築物の売却による減少、減価償却等により、前連結会計年度末に比べ346,588千円減少し、11,126,982千円となりました。

流動負債は、短期借入金の返済による減少、支払手形及び買掛金の減少等により、前連結会計年度末に比べ1,011,464千円減少し、10,615,969千円となりました。

固定負債は、退職給付に係る負債の増加等により、前連結会計年度末に比べ210,299千円増加し、1,816,216千円となりました。

純資産は、退職給付に係る調整累計額の減少、剰余金の配当等がありましたが、親会社株主に帰属する当期純利益の計上による利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末に比べ551,180千円増加し、11,965,659千円となりました。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べて134,877千円減少し、2,114,371千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、売上債権の増加、たな卸資産の増加及び仕入債務の増加等があったものの、税金等調整前当期純利益の計上等により381,453千円(前年同期に得られた資金は1,139,004千円)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は、土地等固定資産の売却による収入等により217,760千円(前年同期に使用した資金は376,340千円)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、短期借入金の返済及び配当金の支払い等により、734,090千円(前年同期に使用した資金は633,940千円)となりました。

当社グループのキャッシュ・フロー指標のトレンドは下記のとおりであります。

	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
自己資本比率(%)	44.3	45.4	45.7	46.3	49.0
時価ベースの自己資本比率(%)	25.3	26.3	25.4	21.7	23.5
キャッシュフロー対有利子負債比率(年)	4.2	3.7	3.9	4.3	11.4
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	63.8	104.3	105.3	86.4	32.1

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュフロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

1. いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。
2. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数(自己株式控除後)により算出しております。
3. キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業キャッシュ・フローを使用しております。
4. 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利息を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

## (4) 今後の見通し

新型コロナウイルス感染症は世界規模で収束の兆しが見えず、わが国経済への景気の停滞感が急速に強まっています。先行きにつきましては、感染拡大防止に伴う経済活動の抑制が現場工事の中止や延期、設備投資の抑制などに繋がることも想定され、その期間・規模についても不確実性が極めて高い状況下にあります。

このような状況を踏まえ2021年3月期の業績予想につきましては、現段階において合理的に算定することが困難であることから未定といたしました。

今後、連結業績予想の算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達必要性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

なお、今後につきましては、外国人株主比率の推移及び国内の同業他社の国際会計基準の適用動向等を踏まえ、国際会計基準の適用について検討を進めていく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,249,248	2,114,371
受取手形及び売掛金	8,621,735	8,426,281
電子記録債権	441,712	731,735
商品及び製品	1,624,157	1,801,660
仕掛品	167	71
原材料及び貯蔵品	37,376	33,456
その他	211,542	175,088
貸倒引当金	△11,681	△11,801
流動資産合計	13,174,259	13,270,863
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,903,277	6,710,998
減価償却累計額	△3,894,184	△3,915,822
建物及び構築物(純額)	3,009,093	2,795,176
土地	7,392,998	7,218,788
その他	901,859	913,980
減価償却累計額	△711,518	△735,768
その他(純額)	190,341	178,211
有形固定資産合計	10,592,432	10,192,176
無形固定資産	42,726	34,552
投資その他の資産		
繰延税金資産	573,097	648,449
その他	383,700	358,510
貸倒引当金	△118,386	△106,706
投資その他の資産合計	838,411	900,253
固定資産合計	11,473,570	11,126,982
資産合計	24,647,830	24,397,845

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,708,421	5,229,243
短期借入金	4,850,000	4,350,000
未払法人税等	320,058	272,886
賞与引当金	221,174	222,469
その他	527,778	541,370
流動負債合計	11,627,434	10,615,969
固定負債		
退職給付に係る負債	1,434,319	1,666,213
役員退職慰労引当金	73,200	82,500
その他	98,397	67,502
固定負債合計	1,605,916	1,816,216
負債合計	13,233,351	12,432,185
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,073,200	1,073,200
資本剰余金	951,153	951,153
利益剰余金	9,361,312	10,020,313
自己株式	△13,962	△13,962
株主資本合計	11,371,703	12,030,703
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	29,043	23,685
退職給付に係る調整累計額	13,732	△88,729
その他の包括利益累計額合計	42,776	△65,044
純資産合計	11,414,479	11,965,659
負債純資産合計	24,647,830	24,397,845

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	30,043,366	32,430,227
売上原価	25,267,505	27,425,500
売上総利益	4,775,860	5,004,726
販売費及び一般管理費	3,629,261	3,778,936
営業利益	1,146,599	1,225,790
営業外収益		
受取利息	5	6
受取配当金	1,330	15,645
その他	10,380	7,124
営業外収益合計	11,717	22,777
営業外費用		
支払利息	13,146	11,835
営業外費用合計	13,146	11,835
経常利益	1,145,170	1,236,732
特別利益		
固定資産売却益	34,015	74,725
特別利益合計	34,015	74,725
特別損失		
固定資産除却損	670	—
固定資産売却損	16,962	5,354
投資有価証券評価損	—	4,355
特別損失合計	17,633	9,710
税金等調整前当期純利益	1,161,552	1,301,747
法人税、住民税及び事業税	456,280	467,932
法人税等調整額	△58,244	△27,766
法人税等合計	398,035	440,166
当期純利益	763,517	861,581
親会社株主に帰属する当期純利益	763,517	861,581



## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	763,517	861,581
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,803	△5,358
退職給付に係る調整額	△1,886	△102,462
その他の包括利益合計	3,916	△107,820
包括利益	767,433	753,760
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	767,433	753,760
非支配株主に係る包括利益	—	—

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,073,200	951,153	8,773,953	△13,875	10,784,432
当期変動額					
剰余金の配当			△176,158		△176,158
親会社株主に帰属する 当期純利益			763,517		763,517
自己株式の取得				△87	△87
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	587,358	△87	587,271
当期末残高	1,073,200	951,153	9,361,312	△13,962	11,371,703

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	23,240	15,618	38,859	10,823,291
当期変動額				
剰余金の配当				△176,158
親会社株主に帰属する 当期純利益				763,517
自己株式の取得				△87
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	5,803	△1,886	3,916	3,916
当期変動額合計	5,803	△1,886	3,916	591,188
当期末残高	29,043	13,732	42,776	11,414,479

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,073,200	951,153	9,361,312	△13,962	11,371,703
当期変動額					
剰余金の配当			△202,580		△202,580
親会社株主に帰属する 当期純利益			861,581		861,581
自己株式の取得					
株主資本以外の項目 の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	659,000	—	659,000
当期末残高	1,073,200	951,153	10,020,313	△13,962	12,030,703

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	29,043	13,732	42,776	11,414,479
当期変動額				
剰余金の配当				△202,580
親会社株主に帰属する 当期純利益				861,581
自己株式の取得				
株主資本以外の項目 の 当期変動額(純額)	△5,358	△102,462	△107,820	△107,820
当期変動額合計	△5,358	△102,462	△107,820	551,180
当期末残高	23,685	△88,729	△65,044	11,965,659

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	1,161,552	1,301,747
減価償却費	250,628	240,599
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△11,384	△11,560
賞与引当金の増減額(△は減少)	116,886	1,294
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	73,942	84,211
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	9,700	9,300
受取利息及び受取配当金	△1,336	△15,652
支払利息	13,146	11,835
固定資産除売却損益(△は益)	△16,187	△69,030
投資有価証券評価損益(△は益)	—	4,355
売上債権の増減額(△は増加)	△879,206	△73,250
たな卸資産の増減額(△は増加)	△82,750	△173,486
差入保証金の増減額(△は増加)	10	11
その他の資産の増減額(△は増加)	38,085	△1,623
仕入債務の増減額(△は減少)	790,133	△441,100
未払消費税等の増減額(△は減少)	47,092	29,849
その他の負債の増減額(△は減少)	573	△3,006
小計	1,510,887	894,492
利息及び配当金の受取額	1,336	15,652
利息の支払額	△13,177	△11,895
法人税等の支払額	△360,041	△516,796
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,139,004	381,453
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△1,096	—
有形及び無形固定資産の取得による支出	△713,345	△181,614
有形及び無形固定資産の売却による収入	336,025	407,932
貸付けによる支出	△439	—
貸付金の回収による収入	836	558
その他の支出	△2,166	△11,159
その他の収入	3,846	2,044
投資活動によるキャッシュ・フロー	△376,340	217,760
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△420,000	△500,000
リース債務の返済による支出	△37,352	△31,623
自己株式の取得による支出	△87	—
配当金の支払額	△176,500	△202,467
財務活動によるキャッシュ・フロー	△633,940	△734,090
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	128,723	△134,877
現金及び現金同等物の期首残高	2,120,525	2,249,248
現金及び現金同等物の期末残高	2,249,248	2,114,371

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

当社グループは、電設資材卸売業以外のセグメントの重要性が乏しく、財務諸表利用者の判断を誤らせる可能性が乏しいと考えられますので、記載は省略しております。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

当社グループは、電設資材卸売業以外のセグメントの重要性が乏しく、財務諸表利用者の判断を誤らせる可能性が乏しいと考えられますので、記載は省略しております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	1,295円94銭	1,358円52銭
1株当たり当期純利益金額	86円69銭	97円82銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益金額 (千円)	763,517	861,581
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額 (千円)	763,517	861,581
普通株式の期中平均株式数(千株)	8,807	8,807

(重要な後発事象)

該当事項はありません。